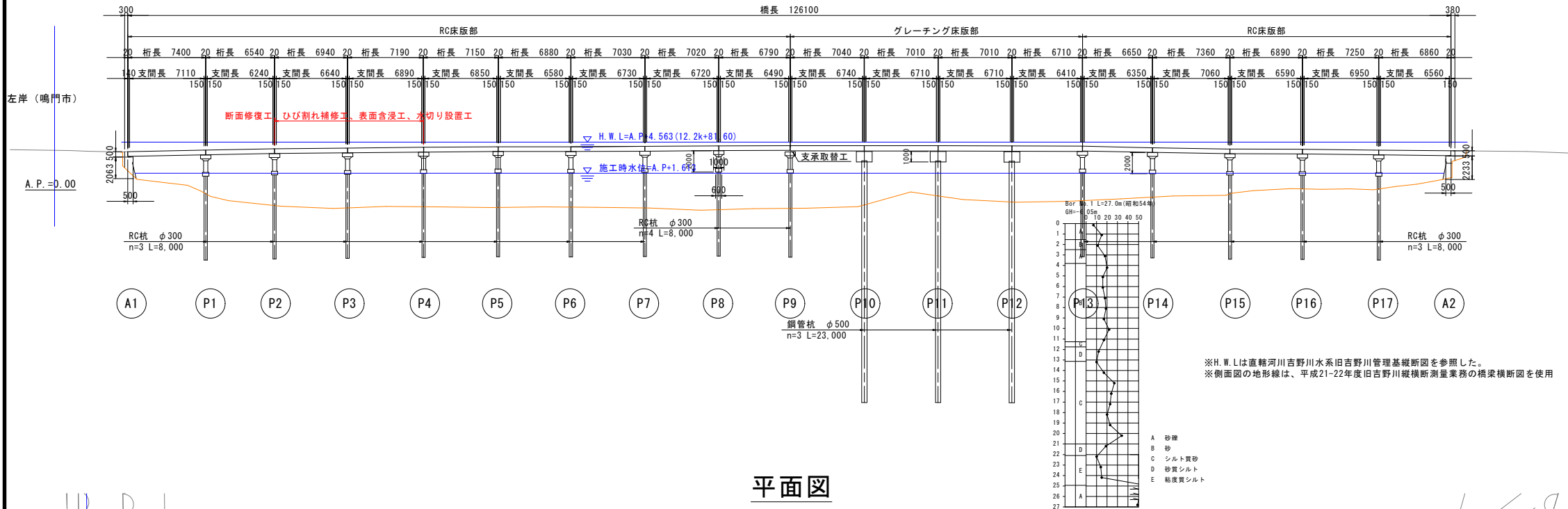
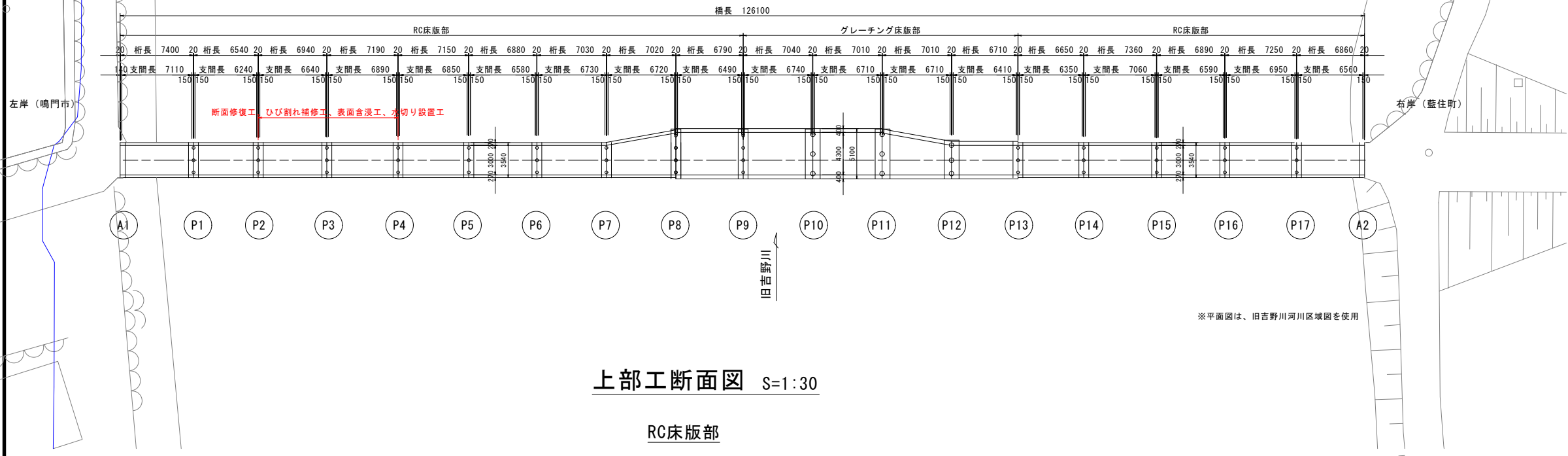


補修一般図 S=1:250

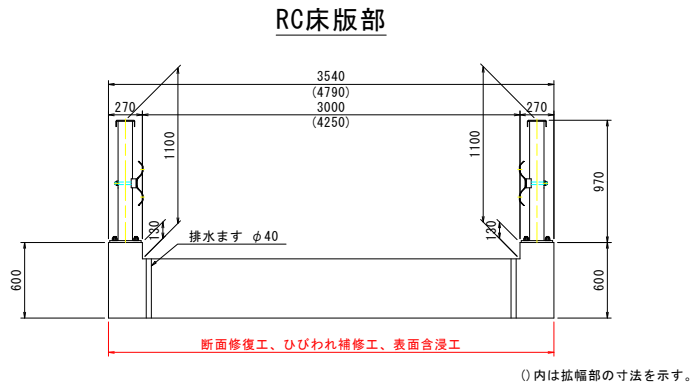
側面図



平面図



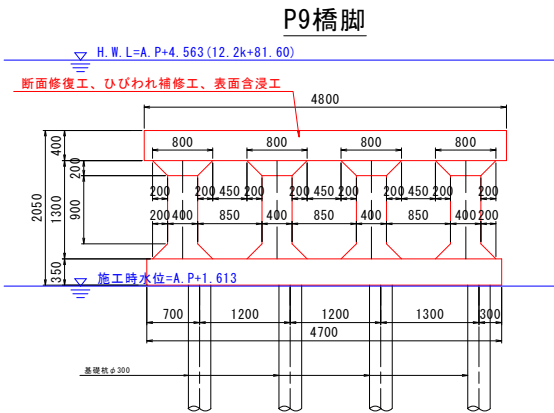
上部工断面図 S=1:30



注記
1. 本図面は、既存資料を基に現地計測やスケールアップ等にて図化したものである。
2. 詳細な寸法等に不明箇所がある為、必要に応じて再計測等を実施すること。

設計条件	
道路条件	
路 線	市道 市場橋線
道路規格	第3種4級
設計速度	V=40km/h
設計荷重	TL-6 (TL-14 : グレーティング床版部)
大型車交通量	不明
計画交通量	不明
交差物件	1級河川吉野川水系 旧吉野川
幾何条件	
橋 名	市場橋
橋 長	L=126.100m (CL上)
桁 長	6.540~7.400m (CL上)
支 間 長	6.240~7.110m (CL上)
総 幅 員	3.540~5.100m
有効幅員	3.000~4.300m
斜 角	$\theta = 90^{\circ} 00' 00''$ (A1~P8, P10~A2)、 $84^{\circ} 38' 42''$ (P9)
平面線形	R = ∞
縦断勾配	不明
横断勾配	i=LEVEL
構造形式	
上部工	単純RC床版橋9連+単純H型橋4連+単純RC床版橋5連
舗 装	アスファルト舗装 t=50mm
下部工	重力式橋台、ラーメン橋脚 (RC)、パイルベント橋脚 (鋼製)
基礎工	鋼管杭、直接基礎
支 承	固定可動形式

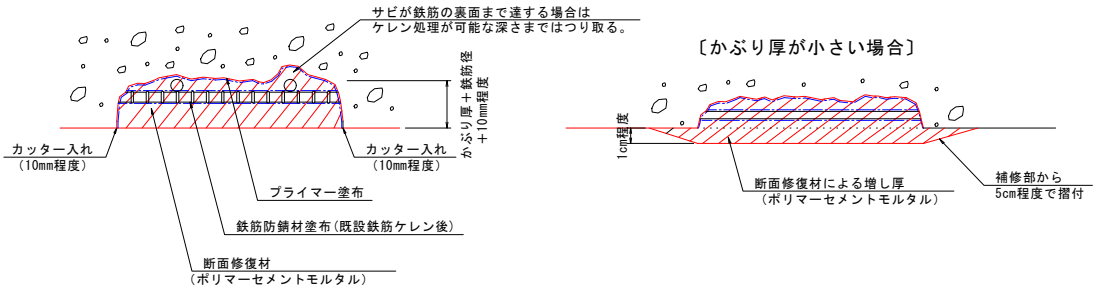
下部工正面図 S=1:30



図面番号	第 1 号	図面総数		第 7 葉		
工事名称	市場橋橋梁補修工事					
図 名	補修一般図				縮尺 (A1) : 図示	
製作年月	令和 8 年 7 月		所属年度		令和 8 年度	
係 員	課 長	副 課 長	係 長	係 員	設計・製図	照 査
鳴門市 都市建設部 土木課						

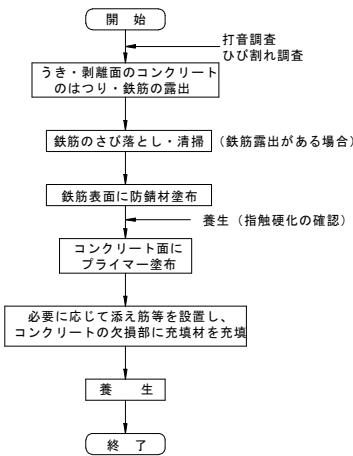
補修詳細図(その1)

断面修復工詳細図

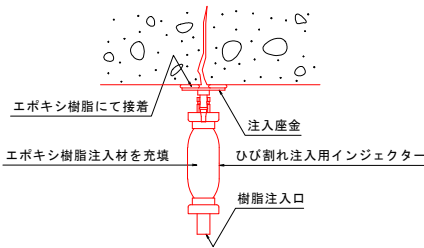


※ 使用する材料の仕様に基づいて施工すること。
※ 補修部縁端は、フェザーエッジが生じないようにカッターで切れ込みを入れること。
※ 鉄筋のかぶり厚が薄い場合は、ポリマーセメントモルタルで10mm以上は確保するように盛って擦り付ける形で断面修復を行うこと。施工時の善線等の残鉄は可能な限り撤去して断面修復すること。
※ はつり深さは適宜調整するものとし、脆弱部は完全に除去して充填を行うこと。
※ 鉄筋がある場合は、既設鉄筋の背面、既設部材の粗骨材寸法程度まで除去する。(10～20mm程度)
※ 豆板部で粗骨材が露出している部分においては脆弱部ははつり取り、健全部を露出してポリマーセメントモルタル等を塗布や充填して復旧すること。
※ はつりを行い、鉄筋が確認された場合は錆を除去した後、鉄筋防錆材を塗布すること。

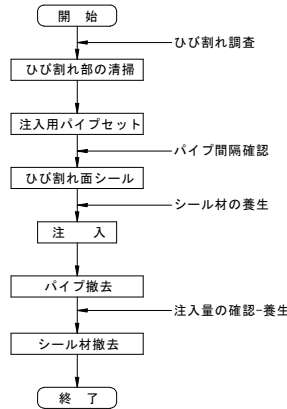
〔断面修復工法の施工要領〕



ひびわれ注入工詳細図

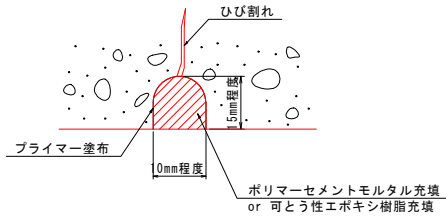


〔ひび割れ注入工法の施工要領〕

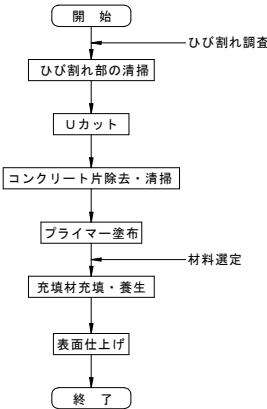


注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 規格は、エポキシ樹脂注入材 1種(下部工)、3種(上部工)同等品を推奨とする。
注) 基本的にひび割れ幅0.2～1.0mm以下を対象にひびわれ注入による補修とする。
注) 遊離石灰部は研掃して状態を見極めて、補修すること。
注) 損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、監督員と協議の上、最終決定すること。

ひびわれ充填工法詳細図
(Uカット工法)

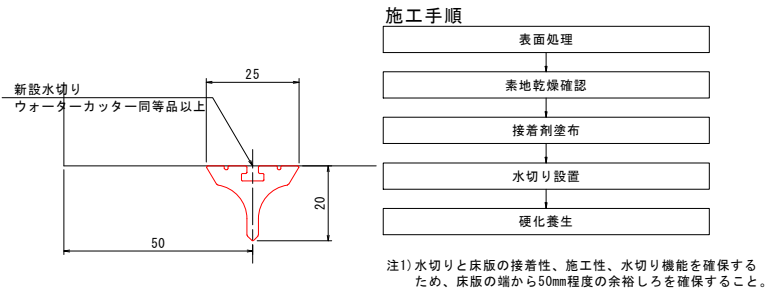


〔Uカット工法の施工要領〕

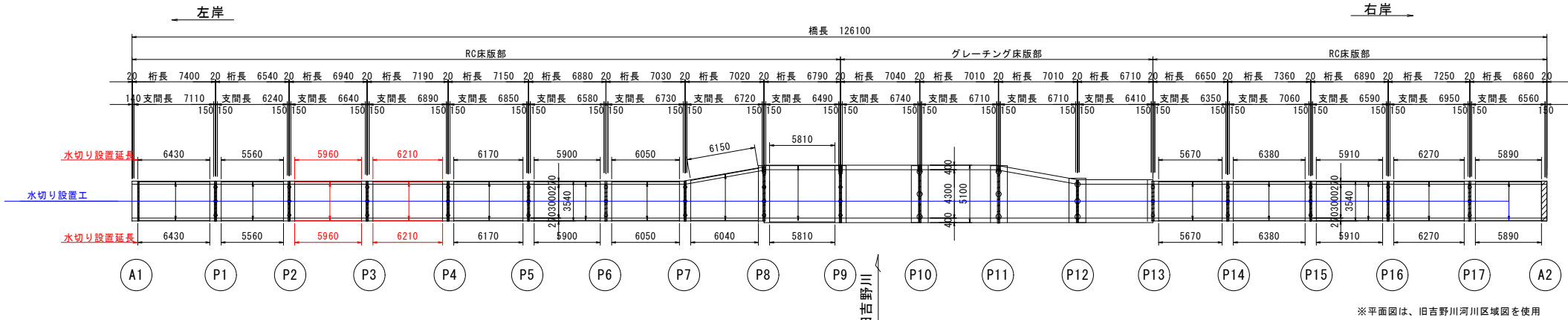


注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 充填材は、ポリマーセメントモルタルとする。
注) 基本的にひび割れ幅1.0mm以上及び遊離石灰等で注入が困難な箇所を対象とする。
注) 遊離石灰部は研掃して状態を見極めて、補修の必要性を判断すること。
注) 損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、監督員と協議の上、最終決定すること。

水切り詳細図 S=1:1



水切り設置工位置図 S=1:250



図面番号	第 2 号	図面総数	第 7 葉
工事名称	市場橋橋梁補修工事		
図 名	補修詳細図(その1)		
製作年月	令和8年7月	所属年度	令和8年度
係 員	課 長	副 課 長	係 長
	係 員	設計・製図	照 査
鳴門市 都市建設部 土木課			

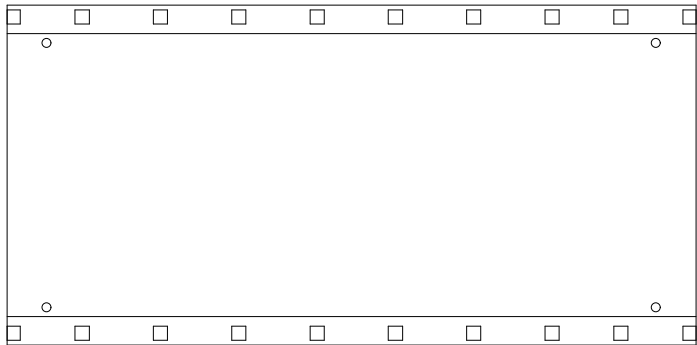
補修詳細図(その2) S=1:40
市場橋 上部工

桁下面

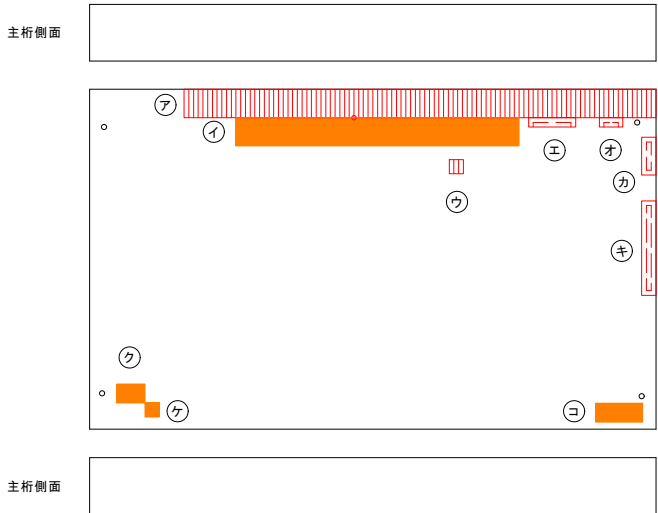
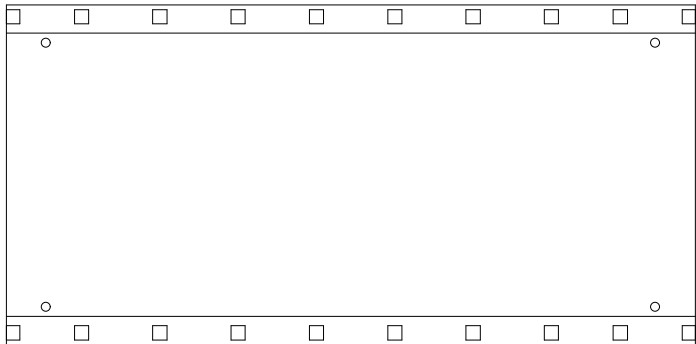
橋面

第3径間

第3径間



第4径間

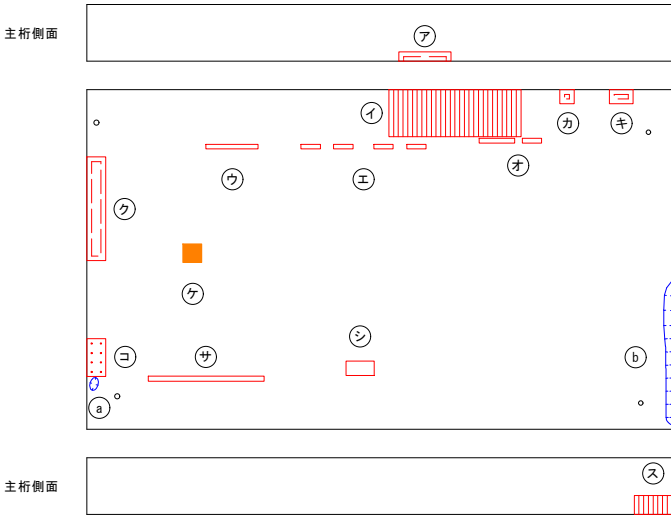


第3径間

断面修復工(左官工法)

部材	No.	種別	幅 W 〔mm〕	延長 L 〔mm〕	深さ t 〔mm〕	面積 A 〔m2〕	体積 V 〔m3〕	防錆 処理
主桁0101	ア	鉄筋露出	300	5000	60	1.5000	0.0900	有
主桁0101	イ	うき	300	3000	60	0.9000	0.0540	有
主桁0101	ウ	鉄筋露出	150	150	60	0.0225	0.0014	有
主桁0101	エ	剥離	100	500	60	0.0500	0.0030	有
主桁0101	オ	剥離	100	250	60	0.0250	0.0015	有
主桁0101	カ	剥離	400	150	60	0.0600	0.0036	有
主桁0101	キ	剥離	1000	150	60	0.1500	0.0090	有
主桁0101	ク	うき	200	300	60	0.0600	0.0036	有
主桁0101	ケ	うき	150	150	60	0.0225	0.0014	有
主桁0101	コ	うき	200	500	60	0.1000	0.0060	有

第4径間



断面修復工(左官工法)

部材	No.	種別	幅 W 〔mm〕	延長 L 〔mm〕	深さ t 〔mm〕	面積 A 〔m2〕	体積 V 〔m3〕	防錆 処理
主桁0101	ア	剥離	100	550	60	0.0550	0.0033	有
主桁0101	イ	鉄筋露出	500	1400	60	0.7000	0.0420	有
主桁0101	ウ	鉄筋露出	50	550	60	0.0275	0.0017	有
主桁0101	エ	鉄筋露出	50	1350	60	0.0675	0.0041	有
主桁0101	オ	鉄筋露出	50	650	60	0.0325	0.0020	有
主桁0101	カ	剥離	150	150	60	0.0225	0.0014	有
主桁0101	キ	剥離	150	250	60	0.0375	0.0023	有
主桁0101	ク	剥離	1100	200	60	0.2200	0.0132	有
主桁0101	ケ	うき	200	200	60	0.0400	0.0024	有
主桁0101	コ	豆板	400	200	60	0.0800	0.0048	有
主桁0101	サ	鉄筋露出	50	1250	60	0.0625	0.0038	有
主桁0101	シ	鉄筋露出	150	300	60	0.0450	0.0027	有
主桁0101	ス	鉄筋露出	200	400	60	0.0800	0.0048	有

ひびわれ延長(充填工)

部材	No.	種別	幅 W 〔mm〕	延長 L 〔mm〕
主桁0101	a	遊離石灰	0.2	150
主桁0101	b	遊離石灰	0.2	1550

《補修工法一覧表》	
損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	—
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

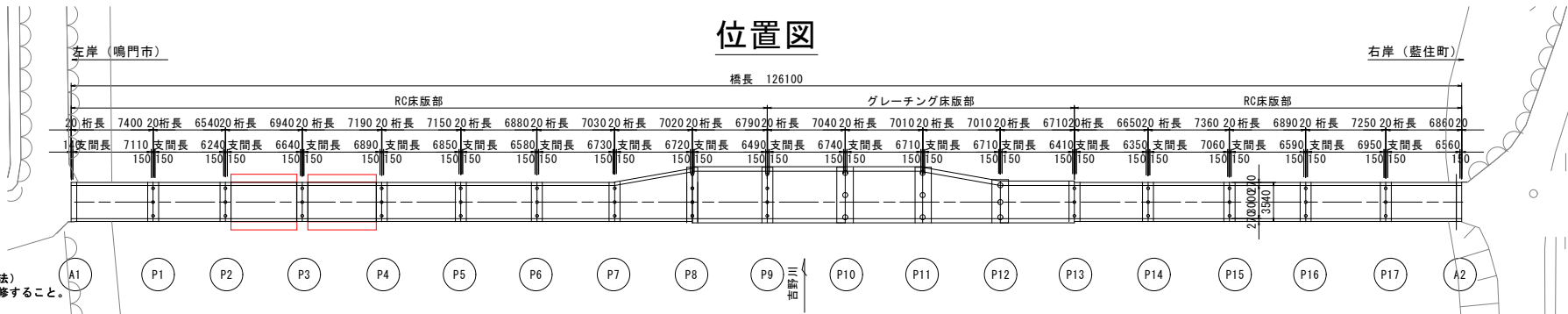
凡 例	
ひびわれ	
う き	
剥 離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
漏水・滞水	

凡 例	
①～：ひびわれ注工	
②～：ひびわれ充填工	
③～：断面修復工	

《ひび割れの線種》	
	ひび割れ幅0.2mm未満
	ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満
	ひび割れ幅1.0mm以上および遊離石灰

注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。
注) 遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。
遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法（もしくはVカット工法）
で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻による充填工法に変更し補修すること。
注) 記載無きひび割れはひび割れ幅0.2mmを示す。

位置図

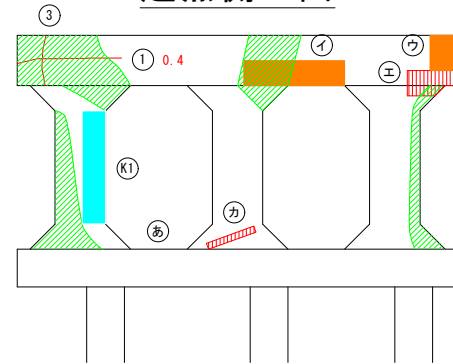
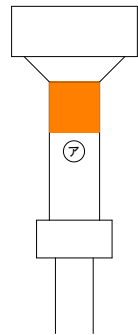


図面番号	第 3 号	図面総数	第 7 葉
工事名称	市場橋橋梁補修工事		
図 名	補修詳細図(その2)		縮尺(A1): 図示
製作年月	令和8年7月	所属年度	令和8年度
係 員	課 長	副 課 長	係 長
	係 員	係 員	設計・製図 照 査
鳴門市 都市建設部 土木課			

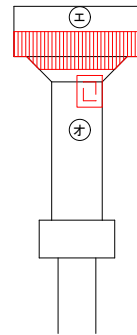
市場橋 下部工

起点側正面

下流側側面

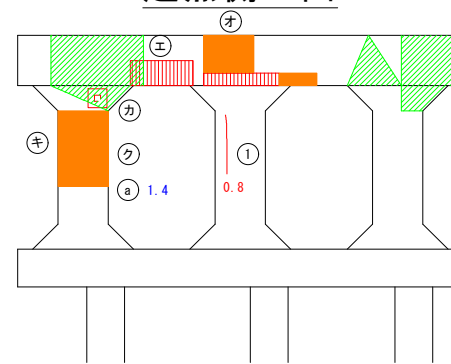
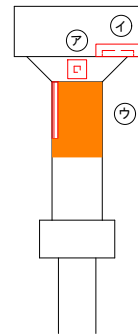


上流側側面

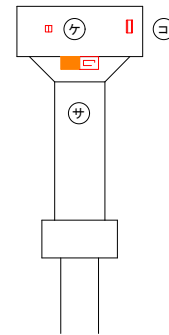


起点側正面

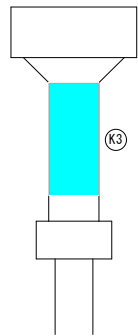
下流側側面



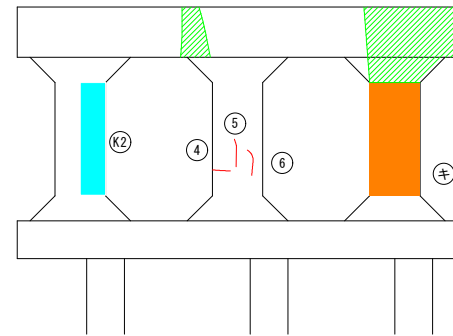
上流側側面



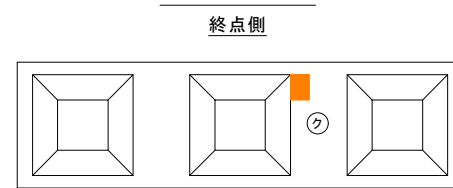
下流側側面



終点側正面



上梁下面



起点側

補修型枠

部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]	深さ t [mm]	面積 A [m ²]	体積 V [m ³]	防錆 処理
橋脚【柱部・壁部】0102	K1	補修型枠	200	900	0	0.1800		有
橋脚【柱部・壁部】0102	K2	補修型枠	200	900	0	0.1800		有
橋脚【柱部・壁部】0102	K3	補修型枠	400	900	0	0.3600		有

ひびわれ延長（注入工）

部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]
橋脚〔梁部〕0102	1	梁部ひびわれ	0.4	550
橋脚〔柱部・壁部〕0102	2	柱部ひびわれ	0.2	400
橋脚〔柱部・壁部〕0102	3	柱部ひびわれ	0.2	150
橋脚〔柱部・壁部〕0102	4	柱部ひびわれ	0.2	170
橋脚〔柱部・壁部〕0102	5	柱部ひびわれ	0.2	220

断面修復工(左官工法)

部材	No.	種別	幅 W (mm)	延長 L (mm)	深さ t (mm)	面積 A _面 (mm ²)	体積 V _体 (mm ³)	防錆 処理
橋脚(柱部・梁部)1012	ア	うき	400	400	60	0.1600	0.0096	有
橋脚(柱部・梁部)1012	イ	うき	300	200	60	0.0360	0.0096	有
橋脚(柱部・梁部)1012	エ	うき	250	200	60	0.0500	0.0030	有
橋脚(梁部)1012	エ	鉄筋露出	CADより算出		60	0.3400	0.0204	有
橋脚(梁部)1012	オ	削離	200	250	60	0.0500	0.0030	有
橋脚(柱部・梁部)1012	カ	鉄筋露出	50	400	60	0.0200	0.0112	有
橋脚(柱部・梁部)1012	キ	うき	500	800	60	0.2400	0.0270	有
橋脚(柱部・梁部)1012	ク	うき	200	150	60	0.0300	0.0018	有

凡例

- ①～：ひびわれ注入工法
 ②a～：ひびわれ充てん工法
 ③ア～：断面修復工法（左官工法）
 ④あ～：断面修復工法（左官工法）

《ひび割れの線種》

-----	ひび割れ幅0.2mm未満
—————	ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満
—————	ひび割れ幅1.0mm以上および遊離石灰

注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。

注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。

注) 遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。

遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法（もしくはVカット工法）で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻による充填工法に変更し補修すること。

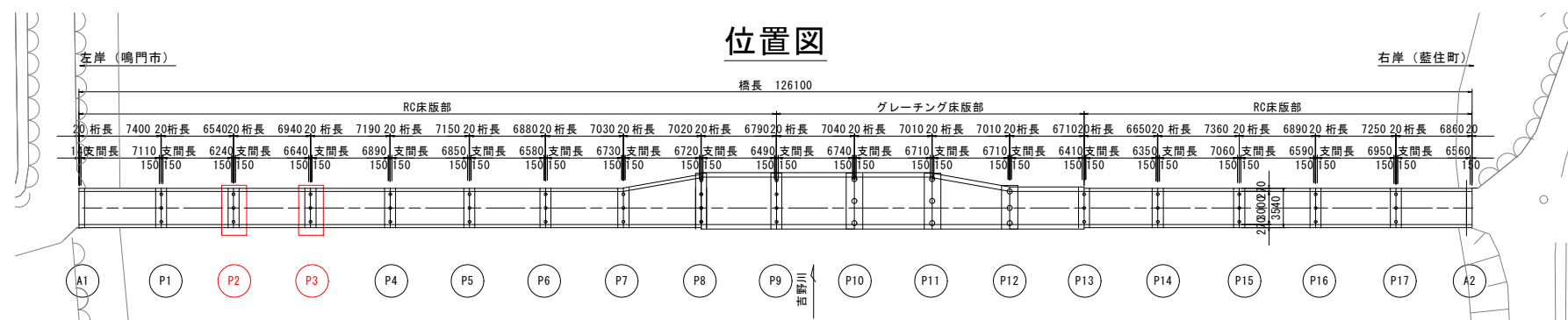
注) 記載無きひび割れはひび割れ幅0.2mmを示す。

《補修工法一覽表》

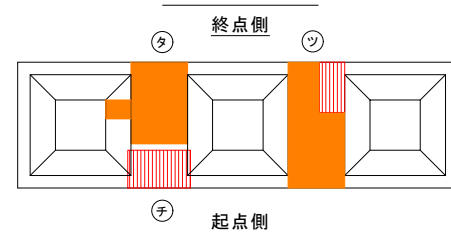
損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	—
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

凡 例		
ひびわれ		型枠工 
う き		
剥 離		
鉄筋露出		
遊離石灰		
豆板・空洞		
漏水・滲水		

位置図



上梁下面



ひびわれ延長(注入工)

部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]
橋脚[柱部・壁部] 0102	1	柱部ひびわれ	0.8	470
橋脚[柱部・壁部] 0102	2	柱部ひびわれ	0.7	490
橋脚[柱部・壁部] 0102	3	柱部ひびわれ	0.7	570
橋脚[柱部・壁部] 0102	4	柱部ひびわれ	0.5	870
橋脚[柱部・壁部] 0102	5	柱部ひびわれ	0.5	150

ひびわれ延長(充填工)

部材	No.	種別	幅 W 【mm】	延長 L 【mm】
橋脚【柱部・壁部】0102	a	ひびわれ	1.4	500

断面修復工(左官工法)

部材	No.	種別	幅 [mm]	延長 [mm]	深さ [mm]	面積 [m ²]	体積 [m ³]	防錆 処理
橋脚(柱部・壁部)1012	A	刺繍	150	150	60	0.0225	0.0014	有
橋脚(梁部)1012	イ	刺繍	100	300	60	0.0300	0.018	有
橋脚(柱部・壁部)1012	ウ	うき・鉄筋露出	600	400	60	0.2400	0.144	有
橋脚(梁部)1012	エ	鉄筋露出	500	500	60	0.2500	0.0150	有
橋脚(梁部)1012	オ	カドより算出				0.2500	0.0150	有
橋脚(柱部・壁部)1012	カ	刺繍	150	150	60	0.0225	0.0014	有
橋脚(柱部・壁部)1012	キ	鉄筋露出	600	600	60	0.3600	0.0216	有
橋脚(柱部・壁部)1012	ク	鉄筋露出	50	150	60	0.0075	0.0005	有
橋脚(梁部)1012	ケ	うき・鉄筋露出	50	50	60	0.0025	0.0002	有
橋脚(梁部)1012	コ	鉄筋露出	100	50	60	0.0050	0.0003	有
橋脚(柱部・壁部)1012	サ	うき・刺繍	100	300	60	0.0300	0.0018	有
橋脚(梁部)1012	シ	鉄筋露出	200	300	60	0.0600	0.0036	有
橋脚(柱部・壁部)1012	ス	うき				0.0800	0.0048	有
橋脚(柱部・壁部)1012	セ	鉄筋露出	450	150	60	0.0675	0.0041	有
橋脚(柱部・壁部)1012	ソ	うき	250	50		0.0125	0.0008	有
橋脚(梁部)1012	タ	カドより算出				0.2500	0.0177	有
橋脚(梁部)1012	チ	鉄筋露出	500	500	60	0.2500	0.0150	有
橋脚(梁部)1012	ツ	うき・鉄筋露出	1000	450	60	0.4500	0.0270	有

図面番号	第 4 号	図面総数	第 7 葉			
工事名称	市場橋橋梁補修工事					
図 名	補修詳細図(その3)		縮尺(A1) : 図示			
製作年月	令和8年7月	所属年度	令和8年度			
係 員	課 長	副 課 長	係 長	係 員	設計・製図	照 査
鳴門市 都市建設部 土木課						

補修詳細図（その4） S=1:30

市場橋 下部工

P4橋脚

下流側側面

起点側正面

上流側側面

終点側正面

上梁下面

下流側

終点側

上流側

起点側

凡例

- ①～：ひびわれ注入工
a～：ひびわれ充てん工
㊦～：断面修復工法（左官工法）
㊧～：断面修復工法（左官工法）

《ひび割れの線種》

- ひび割れ幅0.2mm未満
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満
ひび割れ幅1.0mm以上および遊離石灰

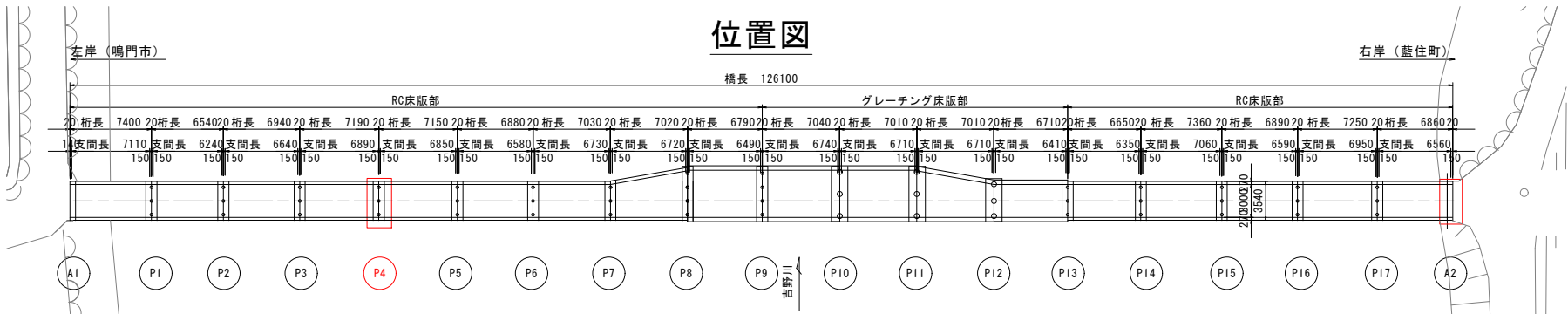
注）足場架設後に現地実測の上、敷量を確定すること。
注）基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。
注）遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。
遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法（もしくはVカット工法）
で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻による充填工法に変更し補修すること。
注）記載無きひび割れはひび割れ幅0.2mmを示す。

《補修工法一覧表》

損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	－
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

凡	例
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
漏水・滞水	

位置図



ひびわれ延長（注入工）

部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]
橋脚〔柱部・壁部〕0102	1	柱部ひびわれ	0.5	410
橋脚〔柱部・壁部〕0102	2	柱部ひびわれ	0.4	460
橋脚〔柱部・壁部〕0102	3	柱部ひびわれ	0.2	500
橋脚〔柱部・壁部〕0102	4	柱部ひびわれ	0.7	760

断面修復工（左官工法）

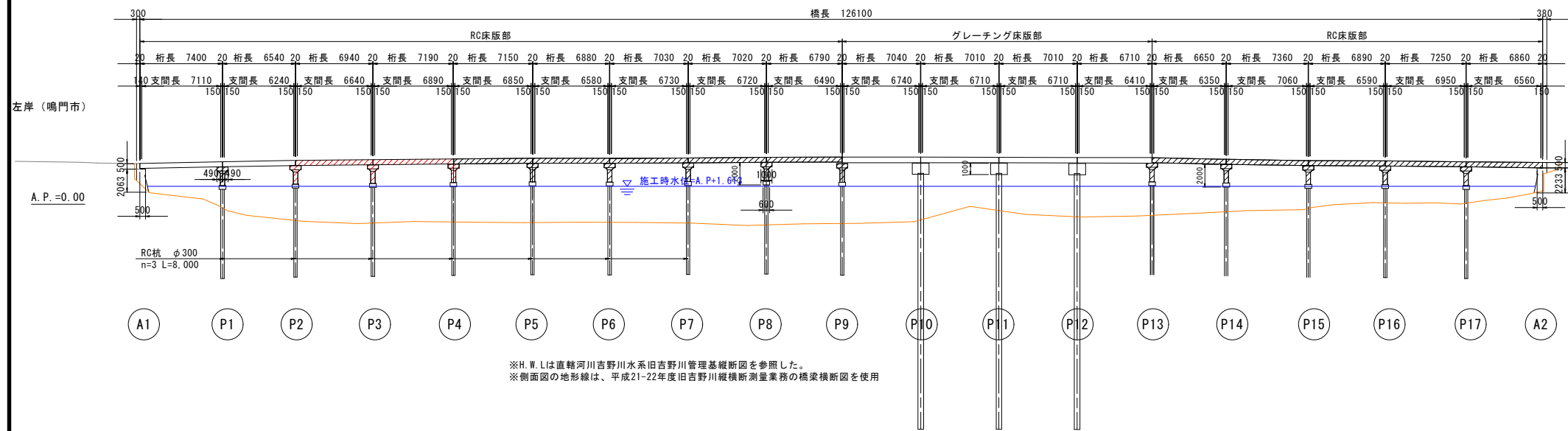
部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]	深さ t [mm]	面積 A [m2]	体積 V [m3]	防錆 処理
橋脚〔梁部〕0102	ア	うき・鉄筋露出	200	1450	60	0.2900	0.0174	有
橋脚〔梁部〕0102	イ	うき	100	200	60	0.0200	0.0012	有
橋脚〔梁部〕0102	ウ	うき	150	1000	60	0.1500	0.0090	有
橋脚〔柱部・壁部〕0102	エ	剥離	100	200	60	0.0200	0.0012	有
橋脚〔柱部・壁部〕0102	オ	剥離	100	100	60	0.0100	0.0006	有
橋脚〔柱部・壁部〕0102	カ	うき	200	150	60	0.0300	0.0018	有
橋脚〔梁部〕0102	キ	鉄筋露出	200	1000	60	0.2000	0.0120	有
橋脚〔梁部〕0102	ク	豆板・うき	CADより算出		60	0.2350	0.0141	有
橋脚〔梁部〕0102	ケ	鉄筋露出	200	500	60	0.1000	0.0060	有
橋脚〔梁部〕0102	コ	うき	250	250	60	0.0625	0.0038	有
橋脚〔梁部〕0102	サ	鉄筋露出	300	150	60	0.0450	0.0027	有
橋脚〔梁部〕0102	シ	うき	400	300	60	0.1200	0.0072	有
橋脚〔梁部〕0102	ス	うき	CADより算出		60	0.3500	0.0210	有

図面番号	第 5 号	図面総数	第 7 葉
工事名称	市場橋橋梁補修工事		
図 名	補修詳細図（その4）		縮尺（A1）：図示
製作年月	令和8年7月	所属年度	令和8年度
係 員	課 長	副 課 長	係 長
	係 員	設計・製図	照 査
鳴門市 都市建設部 土木課			

補修詳細図(その4) S=1:30

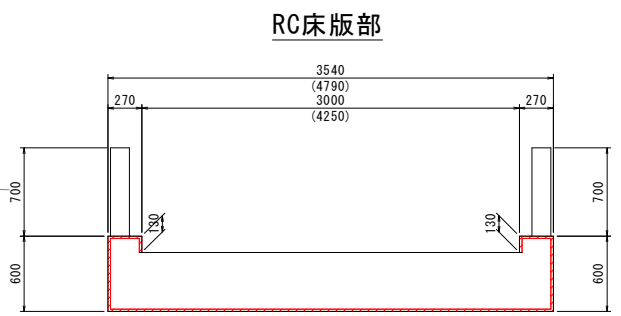
市場橋 表面含浸工

側面図 S=1:250



※H.W.Lは直轄河川吉野川水系旧吉野川管理基礎断面を参照した。
※側面図の地形線は、平成21~22年度旧吉野川縦横断面測量業務の橋梁横断面図を使用

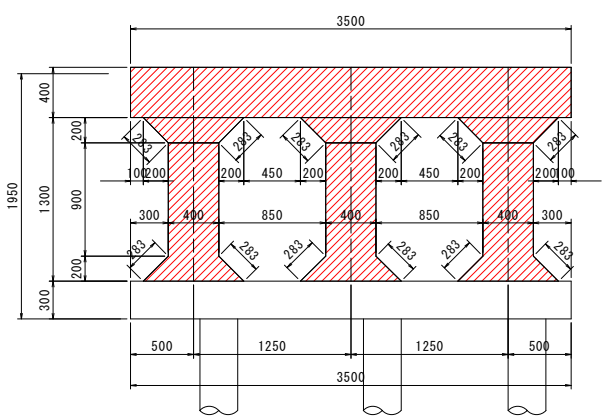
上部工断面図



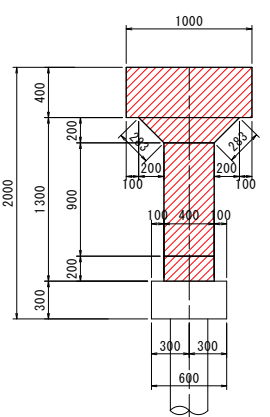
()内は拡幅部の寸法を示す。

P2~3橋脚

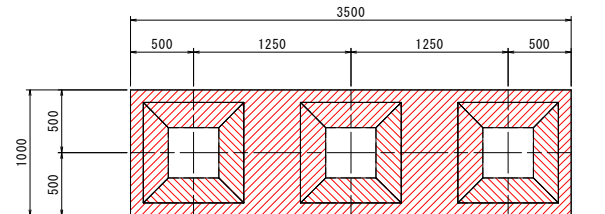
正面図



側面図

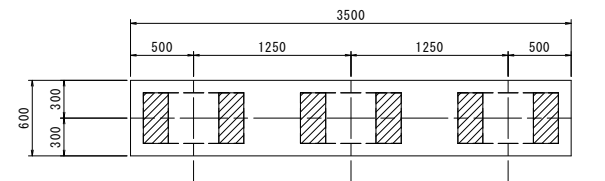


上梁下面



※下部工は標準形式を示す。

下梁上面



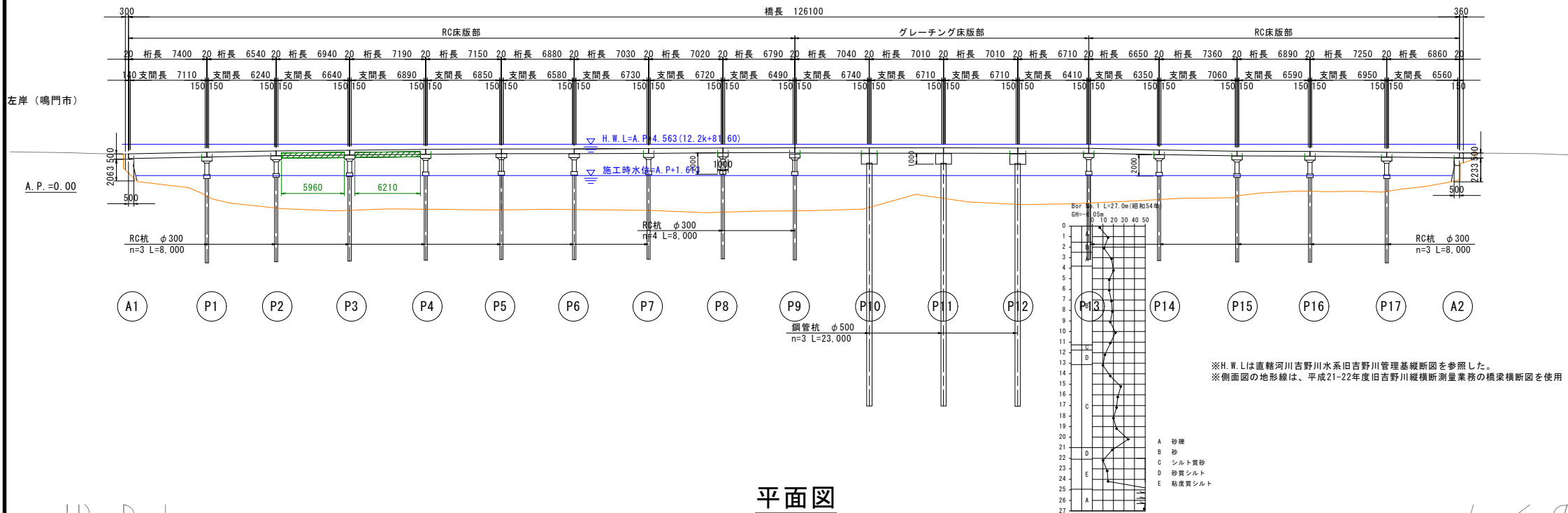
施工手順

- はつり(鉄筋まではチップー)
- はつり(鉄筋背面電動ピック)
- サンドブラストによる除錆(Sa2)
- 鉄筋防錆剤塗布
- プライマー塗布
- 断面修復材充填(ポリマーセメントモルタル)
- プロテクシールCIT同等品以上塗布(躯体コンクリート)
使用量: 0.600 l/m2

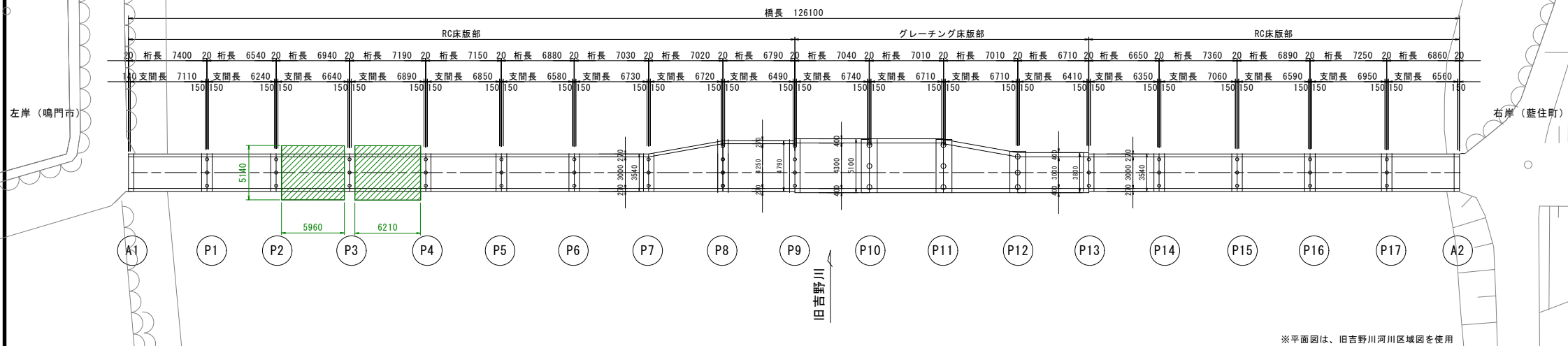
図面番号	第 6 号	図面総数	第 7 葉
工事名称	市場橋橋梁補修工事		
図 名	補修詳細図(その4)		
製作年月	令和8年7月	所属年度	令和8年度
係 員	課 長	副 課 長	係 長
	係 員	設計・製図	照 査
鳴門市 都市建設部 土木課			

施工要領図 S=1:250

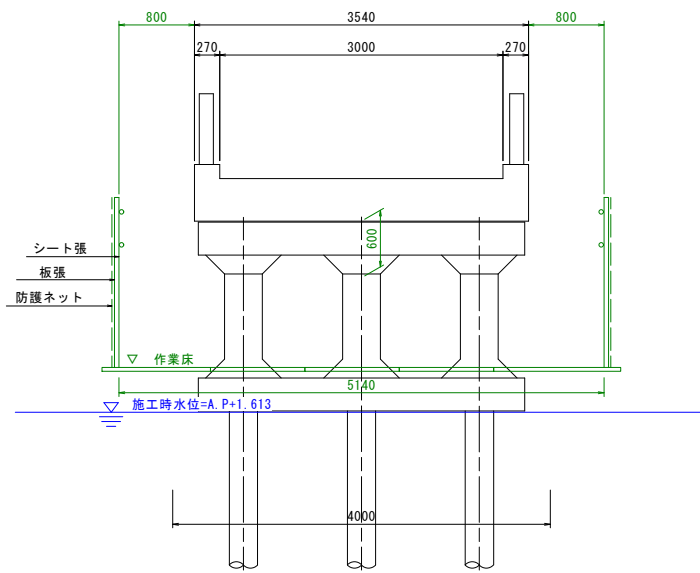
側面図



平面図

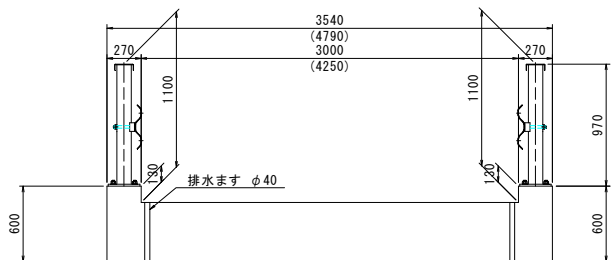


断面図 S=1:40



上部工断面図 S=1:30

RC床版部



①内は拡幅部の寸法を示す。

1. 本図面は、既存資料を基に現地計測やスケールアップ等にて図化したものである。
2. 詳細な寸法等に不明箇所がある為、必要に応じて再計測等を実施すること。

図面番号	第 7 号	図面総数	第 7 葉
工事名称	市場橋橋梁補修工事		
図 名	施工要領図		
製作年月	令和 8 年 7 月	所属年度	令和 8 年度
係 員	課 長	副 課 長	係 長
	係 員	設計・製図	照 査
鳴門市 都市建設部 土木課			